

プロジェクト写真



施設概要

構造・階数：木造（耐震壁付きラーメン工法/1時間準耐火構造）・3階建て
 建築面積：359.65㎡ / 延べ面積：988.11㎡
 最高の高さ：14.14m / 最高の軒の高さ：13.38m
 所在地：宮城県仙台市宮城野区苦竹3丁目4番3外
 竣工：2017年7月

製作メンバー

総合企画：セルコホーム株式会社一級建築士事務所
 設計：意匠設計・監理/阿部仁史アトリエ 構造設計/株式会社オーク構造設計
 電気設計 / エスプロ電気設計 機械設計 / 平吹設計事務所
 施工：セルコホーム株式会社
 部材供給：ベイマツ構造用集成材 / ストラクチャム(カナダ)・(株)篠原商店
 CLT材/西北プライウッド株式会社

協議会との関連

セルコホーム株式会社

宮城県CLT等普及推進協議会 企業会員・幹事会・運営委員会・施工部会部会長企業

平成29年度 東北大学 建築CLTモデル実証棟の施工（タスクフォースメンバー）

平成30年度「県産・木のビルプロジェクト推進事業」の補助金申請採択を受け、

セルコホーム株式会社 汎用型CLT集合住宅（4階建て・耐火構造）を企画。

同協議会企業の株式会社関・空間設計にて設計業務を行っている。

概要・設計趣旨

〇概要

木造建築の良さを生かして街や都市に森にいるような快適空間を創造し、人にやさしく、地球にもやさしい都市のグリーンビルディング化を目指すという事業理念を具現化した木造事務所ビル。CLTや大断面集成材の柱・梁を現しとした人々が木の温もりを感じられる力強く開放的な空間。省エネ性能やコストパフォーマンスに優れた住宅用の樹脂サッシや断熱材を使用し、ローコストでBELS5つ星の省エネ性能を実現。勤務する人達・訪れる人達に快適な環境を少ないエネルギーで提供します。また、東日本大震災で大きな被害を受けた経験を生かし、太陽光発電＋蓄電池、マンホールトイレ、災害対応かまどベンチなど災害時の拠点としての機能も備える。

設計者



© Shunichi Atsumi



写真上/意匠：阿部仁史アトリエ（阿部仁史、矢口秀夫、村松沙綾）
写真下/構造：オーク構造設計（新谷真人、足立徹郎、花川太地）

〇設計者の思い

大規模木造建築を特殊な表現を持った特別のものではなく、現代都市を構成する一般的な要素として復活させたいと思っています。そのために、木を自由な空間を実現するしっかりとした骨組みを提供しうる未来性のある素材として扱いながら、木造の部材として広く流通している住宅用の既製部材や住宅用断熱樹脂サッシ・サイディング・一般的な木造の納まりを用いることにより、木造オフィスビルのスタンダードになりえるデザインを目指しています。しかし同時に、木という材料の持つ柔らかさや香り・人に与える安堵感といった独特の特徴を空間に与えることで、木を材料として使うことの良さや特別な印象を人々に伝えたいと考えています。

アクセス

仙台駅からのアクセス

JR東日本 仙石線

下り 普通列車

東塩釜・高城町・石巻行き



苦竹駅 下車

徒歩約10分

住所：

〒983-0036

宮城県仙台市宮城野区

苦竹3-1-12

